



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

東

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社

上場取引所

コード番号 5660

URL <https://www.shinko-wire.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 北山 修二

問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 吉田 裕彦（TEL）06-6411-1051

半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 2025年12月8日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	16,539	△2.4	319	△50.3	347	△49.3	430	△16.0
2025年3月期中間期	16,942	6.6	642	21.6	686	19.9	512	13.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 408百万円（4.3％） 2025年3月期中間期 391百万円（△22.4％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	72.87	—
2025年3月期中間期	86.79	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	44,081	24,253	55.0
2025年3月期	44,081	24,022	54.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 24,253百万円 2025年3月期 24,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2026年3月期	—	25.00			
2026年3月期（予想）			—	20.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	35,000	2.1	950	△18.6	950	△23.1	800	△22.7

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社(社名) ファイベックス株式会社、除外 — 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	5,912,999株	2025年3月期	5,912,999株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	3,300株	2025年3月期	3,110株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	5,909,816株	2025年3月期中間期	5,910,200株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(中間連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
3. その他	11

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）財政状態及び経営成績の状況

当期における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されておりますが、米国の通商政策影響や、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響などが、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。当社グループを取り巻く事業環境においても、中東地域をめぐる情勢等の地政学リスクの長期化、人件費を始めとした諸コストの上昇、米国の通商政策動向等、不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループでは、諸コストの上昇に対する販売価格改定、高付加価値製品の販売拡大、徹底したコスト削減等に努めましたが、厳しい事業環境の継続による販売数量の減少や諸コストの上昇に加えて、当期は前年同期水準の在庫評価影響が発生しなかったこと等により、当期における当社グループの連結業績は、売上高は16,539百万円と前年同期に比べ403百万円の減収、営業利益、経常利益はそれぞれ319百万円（前年同期比322百万円の減益）、347百万円（前年同期比338百万円の減益）、親会社株主に帰属する中間純利益は430百万円（前年同期比82百万円の減益）となりました。

当中間連結会計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

（P C関連製品）主力分野の橋梁において、老朽化に伴う補修・補強案件が増加する一方で、P C鋼材の使用量が多い新設案件が減少する厳しい事業環境が継続したことに加えて、民間建築分野においても、労働力不足等による工事遅れの発生影響等により、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

（ばね・特殊線関連製品）主力の自動車分野における販売数量は、中国での日系自動車メーカーの販売不振影響等により、前年同期に比べ減少しました。加えて、プリンター分野における販売数量も、一部プリンターメーカーの海外拠点における労働力不足起因の生産調整影響等により、前年同期に比べ減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の販売数量は前年同期に比べ減少し、売上高は8,977百万円と前年同期に比べ144百万円の減収となり、営業利益は117百万円（前年同期比187百万円の減益）となりました。

<鋼索関連事業>

各業界の労働力不足や諸コストの上昇影響等により、需要は依然として低水準で推移しており、販売数量は前年同期に比べ減少しました。一方で、諸コストの上昇に対する販売価格改定等に努めたことにより、売上高は6,925百万円と前年同期に比べ111百万円の増収となり、営業利益は340百万円（前年同期比50百万円の増益）となりました。

<エンジニアリング関連事業>

公共工事の発注減や工事・メンテナンス分野、建築分野における予算不足起因での施工遅れ影響等により、売上高は606百万円と前年同期に比べ369百万円の減収となり、営業損失は164百万円（前年同期は21百万円の利益）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ30百万円、25百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、0百万円減少の44,081百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少、仕掛品の増加によるものです。

負債は、231百万円減少の19,827百万円となりました。これは主として短期借入金の減少によるものです。

純資産は、231百万円増加の24,253百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。また、自己資本比率は55.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想、配当予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました業績予想、配当予想を修正いたしました。

詳細につきましては2025年11月10日に公表いたしました「2026年3月期中間連結会計期間の業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想、配当に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,330	2,676
受取手形	100	128
売掛金	4,633	4,637
電子記録債権	4,737	4,631
商品及び製品	5,002	5,113
仕掛品	3,699	4,066
原材料及び貯蔵品	2,363	2,398
その他	606	530
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,471	24,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,637	2,791
機械装置及び運搬具(純額)	5,121	5,228
工具、器具及び備品(純額)	91	101
土地	5,852	5,904
リース資産(純額)	0	8
建設仮勘定	275	312
有形固定資産合計	13,979	14,346
無形固定資産	247	234
投資その他の資産		
投資有価証券	1,883	1,804
繰延税金資産	557	522
退職給付に係る資産	2,789	2,817
その他	178	200
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	5,382	5,319
固定資産合計	19,609	19,900
資産合計	44,081	44,081

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,593	2,539
短期借入金	6,044	5,584
リース債務	0	1
未払費用	1,023	921
未払法人税等	210	113
契約負債	92	72
賞与引当金	673	685
その他	977	451
流動負債合計	11,615	10,370
固定負債		
長期借入金	4,326	5,304
リース債務	-	6
役員退職慰労引当金	5	-
環境対策引当金	13	12
災害損失引当金	76	59
退職給付に係る負債	3,950	4,009
その他	71	64
固定負債合計	8,443	9,457
負債合計	20,059	19,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,164	8,164
利益剰余金	5,440	5,694
自己株式	△3	△3
株主資本合計	21,664	21,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	586
為替換算調整勘定	207	175
退職給付に係る調整累計額	1,678	1,573
その他の包括利益累計額合計	2,357	2,335
純資産合計	24,022	24,253
負債純資産合計	44,081	44,081

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	16,942	16,539
売上原価	13,999	13,712
売上総利益	2,943	2,826
販売費及び一般管理費	2,301	2,507
営業利益	642	319
営業外収益		
受取利息	26	26
受取配当金	40	41
持分法による投資利益	20	22
固定資産賃貸料	21	21
その他	11	7
営業外収益合計	120	120
営業外費用		
支払利息	38	54
出向者負担金	13	10
固定資産廃棄損	2	7
その他	21	19
営業外費用合計	77	92
経常利益	686	347
特別利益		
投資有価証券売却益	111	21
負ののれん発生益	-	※ 353
受取保険金	5	-
特別利益合計	116	375
特別損失		
災害による損失	129	-
段階取得に係る差損	-	※ 203
特別損失合計	129	203
税金等調整前中間純利益	673	519
法人税、住民税及び事業税	184	58
法人税等調整額	△23	30
法人税等合計	160	88
中間純利益	512	430
親会社株主に帰属する中間純利益	512	430

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	512	430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	115
為替換算調整勘定	12	△7
退職給付に係る調整額	△75	△104
持分法適用会社に対する持分相当額	21	△25
その他の包括利益合計	△121	△22
中間包括利益	391	408
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	391	408

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	673	519
減価償却費	481	509
負ののれん発生益	-	△353
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	109	△27
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△3	△1
災害損失引当金の増減額(△は減少)	92	△17
受取利息及び受取配当金	△66	△67
支払利息	38	54
投資有価証券売却損益(△は益)	△111	△21
持分法による投資損益(△は益)	△20	△22
段階取得に係る差損益(△は益)	-	203
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△0
固定資産廃棄損	2	7
売上債権の増減額(△は増加)	△1,539	487
棚卸資産の増減額(△は増加)	441	△384
仕入債務の増減額(△は減少)	△77	△362
未払費用の増減額(△は減少)	△57	△110
その他	△338	△302
小計	△374	118
利息及び配当金の受取額	66	67
利息の支払額	△35	△45
法人税等の支払額	△257	△154
法人税等の還付額	0	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△601	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△433	△915
有形固定資産の売却による収入	7	10
無形固定資産の取得による支出	△6	△19
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	175	24
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	105
その他	16	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244	△820
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,600	3,150
短期借入金の返済による支出	△3,600	△3,150
長期借入れによる収入	1,400	2,300
長期借入金の返済による支出	△559	△1,941
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△146	△176
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	692	179
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△146	△654
現金及び現金同等物の期首残高	3,025	3,330
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,878	2,676

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当中間連結会計期間より、持分法適用関連会社であったファイベックス株式会社は、株式の追加取得により連結子会社となったため、連結の範囲に含めております。

(中間連結損益計算書関係)

※ 負ののれん発生益、段階取得に係る差損

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社は、持分法適用関連会社であるファイベックス株式会社について株式を追加取得し2025年4月1日に完全子会社化いたしました。この子会社化に伴い、負ののれん発生益、段階取得による差損を計上しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニア リング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,122	6,814	975	16,912	30	16,942	—	16,942
セグメント間の内部売上高 又は振替高	282	97	2	381	—	381	△381	—
計	9,404	6,911	977	17,294	30	17,324	△381	16,942
セグメント利益	305	290	21	617	25	642	—	642

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニア リング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,977	6,925	606	16,508	30	16,539	—	16,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	305	84	0	390	—	390	△390	—
計	9,283	7,009	606	16,899	30	16,930	△390	16,539
セグメント損益	117	340	△164	293	25	319	—	319

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、中間連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

特殊鋼線関連事業において、ファイバックス株式会社の株式を追加取得し子会社化したことに伴い、負ののれん発生益353百万円を特別利益に計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. その他

2025年3月期決算及び2026年3月期通期予想(連結)

(1) 業績の概要

(単位: 百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		対前年同期比較	
	中間期 実績	通期 実績	中間期 実績	通期 予想	中間期	通期
売上高	16,942	34,293	16,539	35,000	△403	706
セグメント別内訳						
1. 特殊鋼線関連事業	9,122	18,044	8,977	18,840	△144	795
2. 鋼索関連事業	6,814	13,936	6,925	14,250	111	313
3. エンジニアリング関連事業	975	2,251	606	1,850	△369	△401
4. その他	30	61	30	60	—	△1
営業利益	642	1,167	319	950	△322	△217
セグメント別内訳						
1. 特殊鋼線関連事業	305	485	117	350	△187	△135
2. 鋼索関連事業	290	549	340	700	50	150
3. エンジニアリング関連事業	21	81	△164	△150	△186	△231
4. その他	25	50	25	50	0	—
経常利益	686	1,235	347	950	△338	△285
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	512	1,034	430	800	△82	△234
1株当たり中間(当期)純利益(円)	86.79	175.04	72.87	135.37	△13.92	△39.67

(2) 設備投資及び減価償却費

(単位: 百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		対前年同期比較	
	中間期 実績	通期 実績	中間期 実績	通期 予想	中間期	通期
設備投資	415	1,094	656	2,036	240	941
減価償却費	481	973	509	988	27	14

(3) キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		対前年同期比較	
	中間期 実績	通期 実績	中間期 実績	通期 予想	中間期	通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△601	1,133	△12	1,739	588	605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244	△697	△820	△1,828	△576	△1,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	692	△132	179	△491	△512	△358
現金及び現金同等物の期末残高	2,878	3,330	2,676	2,750	△202	△580

(4) 有利子負債及び金融収支

(単位: 百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		対前年同期比較	
	中間期 実績	通期 実績	中間期 実績	通期 予想	中間期	通期
有利子負債	11,017	10,370	10,889	10,276	△128	△94
金融収支	28	30	13	△13	△14	43